

大阪府立光陽支援学校 進路支援部

高等部3年生は卒後の進路に向けての実習が、夏休みから本格的に始まっています。進路行事や学校生活の会話で進路について話し合うことが増え、自分の将来について考えることも多々出てきたかと思います。今号では、夏休みに行った「卒業生の進路先訪問」や「事業所説明会」等について取り上げています。

卒業生の進路先訪問に行ってきました！

夏休み期間中に過去3年間の卒業生の進路先へ教員が出向いて進路先訪問を実施しています。進路先での活動の様子を見せてもらったり、職員の方からお話を聞かせていただいたりして、卒業後の様子を把握する機会となっています。進路先訪問をした教員の顔を見ると、卒業生たちは嬉しそうな表情を見せてくれたり話しかけてくれたりしました。教員も卒業生との再会で元気になっている様子を見ることができて嬉しく思いました。

☆☆ 進路先訪問を実施した事業所 ☆☆

デイサービス Rin、生活介護たんばや、大阪障害者就労支援センター、
ディスエイブルド就労支援センター、エース、subaco、デーセンター機関車、
フォーワーク、ノーサイド、て・さらん、座座、オールケア旭、オールケア旭ノア、
でいぼぼ、光生園、夢たまご、てふてふ徳庵、CLAN 八尾、なにわの宮、たんぼぼ、
交野自立センター、大手前整肢学園、大手前大学、book and café cocoaru、
ほっとステーション、CLAN 守口、ピアンカ



現場実習報告会 ～高等部～

10月18日（金）に高等部前期現場実習報告会を行いました。前期に現場実習に参加した生徒たちが実習の様子を、画像を見せながら報告し、他の生徒からの質問にも答えました。「実習先へは何で行ったのですか？（どんな交通手段か）」や、「何が楽しかったですか？」、「お昼は何を食べましたか？」などの質問があり、真剣な表情で自分が感じたことを話し、わからないことには進路指導主事の小林信哉先生から補足説明を聞き、活気のある報告会となりました。実習に参加したことのない生徒にも、「行ってみようかな」と思わせるような、勇気をもらえる内容でした。後期現場実習報告会は3月の懇談会の時期に行う予定です。



夏休み一日体験

今年も夏休み期間中に生活介護や就労移行、就労継続B型などの事業所に実際に行き、体験を行う「夏休み一日体験」を行いました。今年26の事業所に小学部1名、中学部6名、高等部15名の生徒が参加しました。事業所の雰囲気や実際に作業を体験することで卒業後の進路について考える良い機会になったと思います。

保護者向け事業所見学会

保護者向けの事業所見学会を3回に渡り行いました。小学部から4名、中学部からは3名、高等部では8名の保護者が施設見学に参加されました。

○見学先事業所

ピアンカ(障がい自立訓練事業福祉事業型攻科)

CLAN 守口(生活介護)

デイサービス Rin(生活介護)

教職員対象 事業所説明会

教職員対象に事業所の説明会・学習会を行いました。1日目は旭区役所の浜角さんから「障がい児福祉サービス」と「障がい者福祉サービス」について説明していただきました。丁寧に説明していただくことで、具体的な福祉サービスの利用方法等を再確認することができました。2日目は、実際に事業所の職員の方に来校していただき、事業所の概要やお世話になっている卒業生たちのことなどを、映像を交えながら丁寧に説明していただきました。事業所によって取り組みが異なっており、カフェでの接客や野菜の販売、利用者が描いた絵を企業や個人に貸し出すことを行っているところもありました。中でも初めての給与を受け取っている笑顔一杯の写真はとても印象的でした。

事業所の取り組みや卒業後の福祉制度、キャリア教育のことなどを幅広く知り、考えるよい機会となりました。

○事業所説明会

- ・旭区役所
- ・なにわの宮(生活介護・就労継続支援 B 型)
- ・ノーサイド(生活介護・就労継続支援 B 型)



教職員向け進路研修

教職員向けの進路研修として、関西国際大学から花熊暁教授にお越しいただき、「一人一人の自立や社会参加のための学習支援のあり方」をテーマに、社会的自立・就労を可能にするためにはどのような観点が必要なのか、新学習要領や花熊教授の体験談を交えご講義いただきました。

花熊教授の体験談の中にあつた、中学部の生徒が幼稚園児と交流をすることが印象的でした。中学部の生徒が、幼稚園児が喜びそうなことを四苦八苦して考え、好きなキャラクターの帽子をかぶって喜ばせるという話では、生徒が自分で考えて行動することや達成感を得られるきっかけや場作りの大切さを教えていただきました。

教職員たちが現在行っている指導や生徒との関わり方を、今一度、見直すことの重要性に気づかされた研修でした。



<これからの予定>

<現場実習>

高等部では、9月～翌年2月の期間に、それぞれの進路に向けて、福祉事業所や企業に行き、現場の雰囲気や学校との違いについて体験します。

現場実習をきっかけに自分の進路について考えるきっかけにもなります。

<大阪市キャリア教育支援センター実習>

11/25～27の3日間行われます。昨年は、事務補助(データ入力、ファイリング、文書の破棄等)をしました。

